

八雲町CS連協だより

第4号
発行日:令和3年3月31日
発行元:八雲町コミュニティ・
スクール推進グループ

八雲町教育委員会では、平成30年度から町内すべての小学校、中学校に「小中一貫型コミュニティ・スクール」を導入しました。

私たち八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会では、町内の各家庭、地域の皆さんへ、八雲町におけるコミュニティ・スクールの取組をご紹介します。「八雲町CS連協だより」を作成しています。



▲八雲町CSについて
(八雲町HP)



コミュニティ・スクールしーえす(通称:CS)

コミュニティ・スクールとは、**保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会制度を導入した学校のこと。**学校や保護者・地域の皆さんが共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくと同時に、**地域コミュニティの活性化**にもつながる取組です。



令和2年度最後の 八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会開催



日 時:令和3年2月25日(木)18時30分～19時30分

場 所:八雲町公民館

出席者:各中学校区CS委員長、事務局校校長

教育委員会教育長、各関係課長、CS推進グループ

内 容:【報告】七飯町立大沼岳陽学校への視察研修

【報告・協議・交流】各中学校区CSの令和2年度事業経過報告及び

次年度の見通しについて ⇒p2 にて紹介

【協議】

次年度の協議会活動について ⇒p4 にて紹介

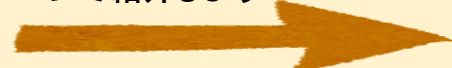


- ・コロナ禍により、予定していた取組を思うように進められない1年となってしまったことが残念。
- ・一方で、この1年でリモート(オンライン)の有用性に希望を見出している。うまく活用して、来年度の活動を模索していきたい。
- ・八雲町には、地域の自然を学べる素晴らしい教材がたくさんある。「地域に学ぶ、地域から学ぶ」という視点を持ってはどうか。
- ・CS導入から3年が経過し、各中学校区で「うちの地域のCS像」が見えてきたのでは。地域ならでのCSについてより深めていきたい。

出席された
方からの意見



各中学校区の詳しい様子は
次のページで紹介します



ご存知ですか？

八雲町でも…町内4つの中学校区を基盤にして 小中一貫型コミュニティ・スクール が導入されています！



各中学校区においては、学校、保護者、地域が一体となって

「**目指す15歳（中学3年生）の子どもたちの姿**」を共有し、各地域ならではの学習素材や地域人材を取り入れた取組を実施しているほか、小中学校で統一した学習・生活のきまりを定めるなど、様々な活動が行われています。

あなたの地域は？



町内4中学校区での取組状況について（一部抜粋）

八雲中学校区

（八雲中・八雲小・山崎小・浜松小）

【令和2年度の取組】

今年度も「小中一貫旗の波作戦」を実施。協力してくれる地域の方（町内会、企業や団体など）が着実に増えてきている。

学校運営協議会では、子どもたちの様子について、学校と地域が相互に情報を共有することができた。

【令和3年度の予定】

コロナ禍を理由にすると何もできなくなってしまう。例年並みの取組を計画し、できる方策を考えながら実施していきたい。



野田生中学校区

（野田生中・野田生小・山越小・東野小）

【令和2年度の取組】

校区内で統一して「一日防災学校」を実施。地域の方を交えての避難訓練では、野田生ならではの地域課題に気付くことができた。

【令和3年度の予定】

この1年でオンライン（リモート）の有用性を感じた。校区内の小学生を対象とした、中高生ボランティアによる学習支援（野田生塾）はコロナ禍により開催できなかったが、リモートの活用で実施することはできないかなど、検討を重ねていきたい。



落部中学校区

（落部中・落部小）

【令和2年度の取組】

コロナ禍により中止せざるを得ない取組が多かった。一方で、地域の協力により子どもたちの体験活動を今年も充実させることができた。

【令和3年度の予定】

落部地域は地域と学校が連携する風土があり、地域の文化や技能、体験活動について地域の方から教わる機会も多い。

この状況下でもどんな取組ができるか、可能性を探っていきたい。



熊石中学校区

（熊石中・熊石小）

【令和2年度の取組】

小中学校において、様々な授業に地域の方を講師に招聘。（芋掘り体験、柔道指導など）

【令和3年度の予定】

小中連携で「一日防災学校」を実施予定。地域への参加も呼び掛けたい。

「地域の文化や伝統芸能について学校で取り組んでほしい」という地域からの願いを反映して、小中通して、郷土芸能である「ふるさと熊石」に取り組む。





Report



町内で実施された、地域と学校が協働した活動について、その一部をご紹介します。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました！

中学生の一部は母校である小学校に出向き、後輩たちと参加する場面も



旗の波作戦(八雲中学校区)

交通量の多い国道5号線沿いで、地域の皆さん、校区の小中学生が通行車両へ交通安全を呼びかけました。

各地区の町内会、農事組合、ライオンズクラブ、社会を明るくする運動、交通安全指導員会など、たくさんの方にご協力いただきました。



野田生中学校区内の各校でも、一日防災学校に取り組みました

一日防災学校(山越小学校)

保護者でもある消防署員さんを講師に招き、自然災害の怖さ、学校が避難所になったときに必要なことを学びました。

地域の方もいっしょに学習、避難訓練に参加。野田生地域は新幹線工事で通行するトラックが多く、踏切もあるため、高台への避難時には注意が必要だという地域課題に気付けた、という声も。



「米作りの秘密・稲刈り体験(落部小学校)」今年も地元農家の方にご協力をいただき、米作りの学習、田植え、稲刈り体験をさせていただきました。収穫後のもちつきも楽しみ！



米作りについて一連の学習をさせてもらえる落部の子どもたち。毎日食べているお米がどのように作られているのかを知ることができました。



食育講話(熊石中学校)

熊石総合支所の栄養士・保健師から、栄養知識や理想的な食事の摂り方、生活習慣病予防につながる食生活について教わりました。

成長期の子どもたちには、正しい栄養知識を身につけてもらいたいですね。



茶の湯体験の機会を提供できます！



お祭りで使える
わた菓子機を貸せますよ！

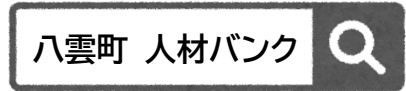
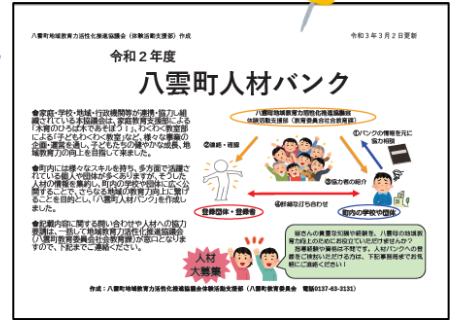


八雲町人材バンクのご紹介

八雲町地域教育力活性化推進協議会では、令和元年度より八雲町人材バンクを作成し、八雲町ホームページにて公開しています。

町内には様々なスキルを持ち、多方面で活躍されている個人や団体が多くありますが、そうした人材の情報を集約し、町内の学校や団体に広く公開することで、さらなる地域の教育力向上に繋げることを目的としています。

講話や体験活動の提供、物品の貸出など、個人や企業、団体によるバンク登録はおよそ90件！地域の皆さんも、町内会活動やサークルの活動などで参考になる情報があるかもしれません。ぜひご覧ください。



子どもたちの先生は学校の教員だけではなく、ときには地域の皆さんになることも。この人材バンクを見て授業の講師を探された学校も多くあります。あなたの好きなこと・得意なことを、地域の誰かが求めているかもしれません。人材バンクに登録していただける方を年間を通じて募集しています。

問合せ先 八雲町地域教育力活性化推進協議会(公民館内)電話 0137-63-3131

次年度の

八雲町CS連絡協議会の活動について

各中学校区で、それぞれのコミュニティ・スクールの姿(方向性)が見えてきた段階に入りました。次年度は、さらにその取組を「熟成」させる期間とし、次のことに取り組んでいくことを確認しました。

地域のCSに対する理解促進に向けて	CSの一層の改善に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・CS連協だよりの発行継続(町内全戸配布) ・各中学校区における研修会の開催を検討(広く地域住民、保護者と共に、学校と地域を取り巻く課題について話し合い、解決へ取り組んでいく足掛かりとなるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡島管内など、近郊で開催されているCS研修会に参加し、他自治体の事例(取組)に触れることで、今後の八雲町CSの改善・発展につなげる。



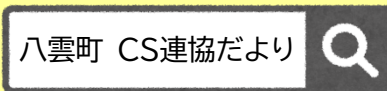
編集後記



コミュニティ・スクールの導入から3年が経過しました。「おらが町の子どもたち」を地域みんなで見守り育てていく、八雲町がいつまでもそんな町であってほしいです。来年度も、八雲町コミュニティ・スクールへのご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

バックナンバー

「八雲町CS連協だよりの」バックナンバーは、八雲町ホームページからご覧いただけます。



【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ(公民館内)
〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131